

風力発電連系申込受付の一時中断および募集方法の変更について

当社は、地球環境問題への対応としてさまざまな取り組みを推進しています。その中でも風力発電は、RPS法（*）が施行された平成15年4月以降、連系希望があれば随時、申込を受け付け、導入量拡大に努めてまいりました。

その後、連系申込は平成17年4月以降急増し、現在、申込累計は約30万kW（現在運転中の約2万kWの15倍程度の規模）となっています。（下表参照）

風力発電は風の強さにより出力が変動するため、現在の申込状況を踏まえると、今後は、電力系統に与える影響を検証しながら、連系申込をお受けしていく必要があります。

このため、当社では、本日より連系申込の受付を一時中断し、今後は年度毎に募集枠による連系申込をお受けすることといたします。具体的には、平成18、19年度の2年間は5万kW程度ずつでの募集枠による受付を行う予定です。

この間蓄積される風力発電の出力変動実績データをもとに技術的な検証をしたうえで、平成20年度を目途に当社サービスエリア内の連系可能量を公表し、可能であればその後の募集を行う予定です。

なお、連系に関する事前の技術検討に関しては、これまで通り実施いたします。

【風力発電設備の連系申込状況】

	H14年度以前	H15年度	H16年度	H17年度 (8月5日現在)
連系申込 (件数)	1.1万kW (6)	0.3万kW (2)	5.6万kW (7)	24.3万kW (11)

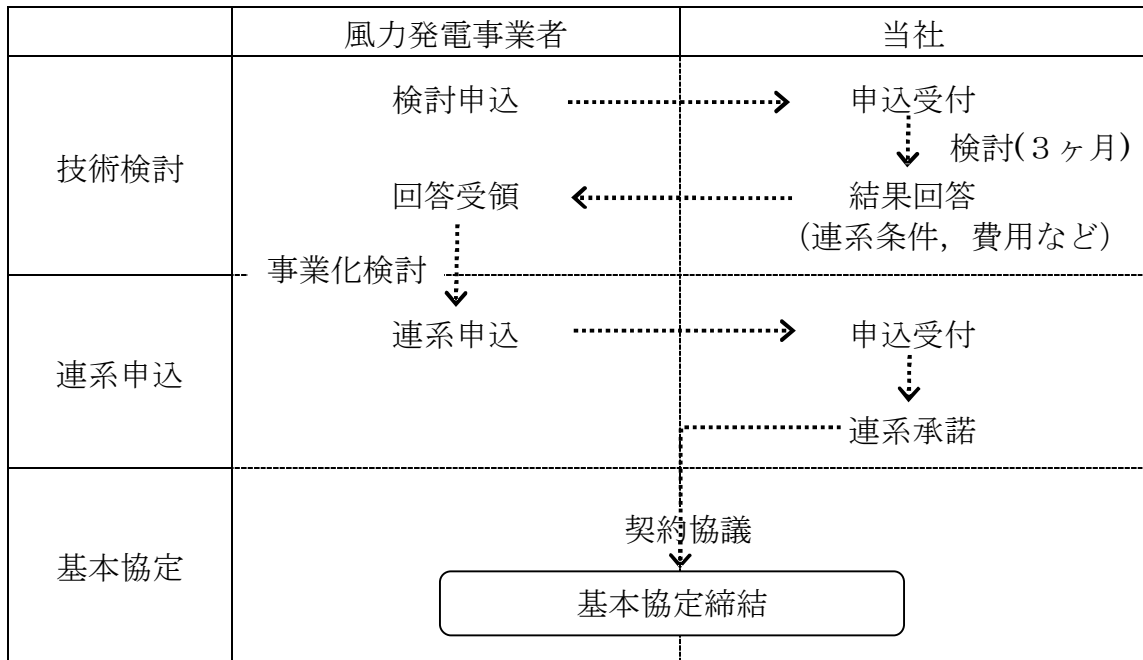
【平成18年度以降の風力発電プロジェクト募集予定】

時期	内容
H17年度中	H18年度の風力連系申込受付方法公表（別途予定）
H18年度	5万kW程度の風力連系を募集
H19年度	5万kW程度の風力連系を募集
H20年度	風力連系可能量の公表（可能であれば追加募集）

* RPS法 (Renewables Portfolio Standard)

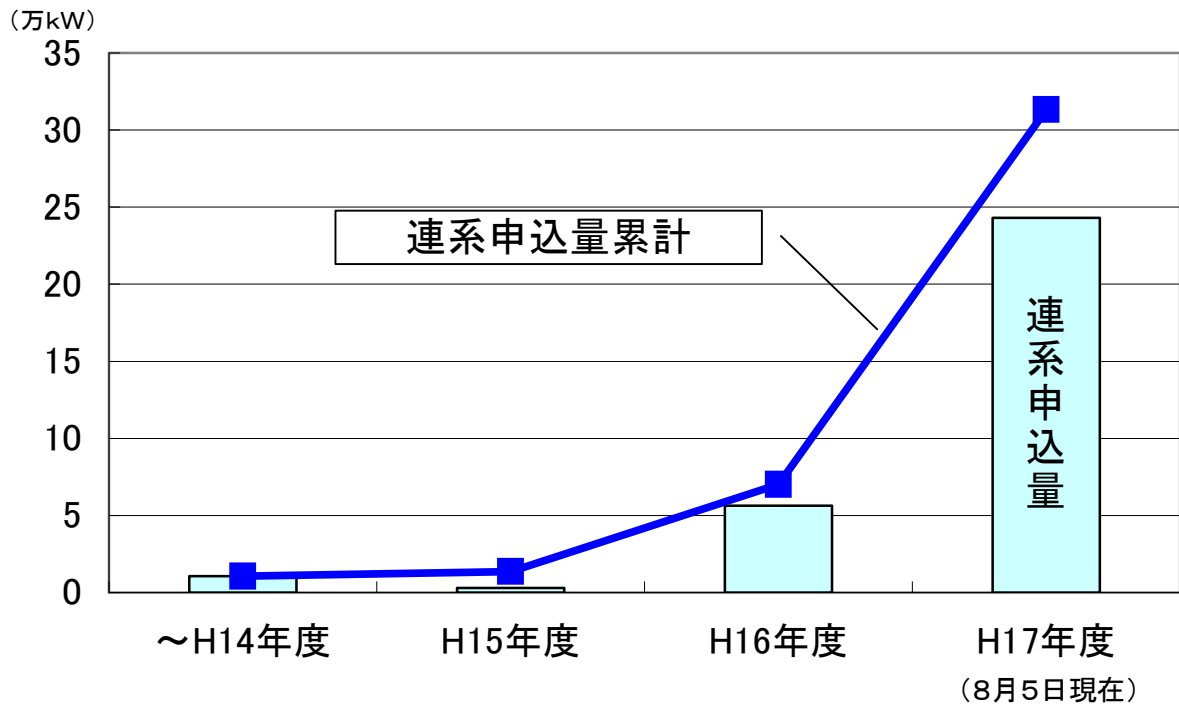
…「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法」

1. 風力連系申込受付の概要（従来方式）



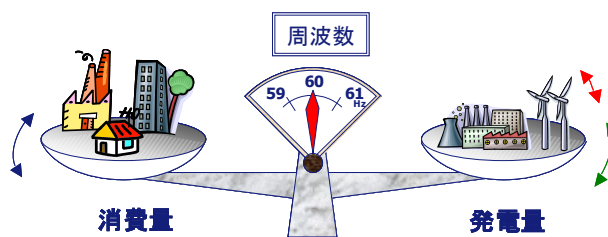
2. 風力連系申し込み量急増への対応

下図の通り、平成17年度に連系申込が急増したため、電力品質への影響を検証しながら連系申込を受付ける必要が生じました。

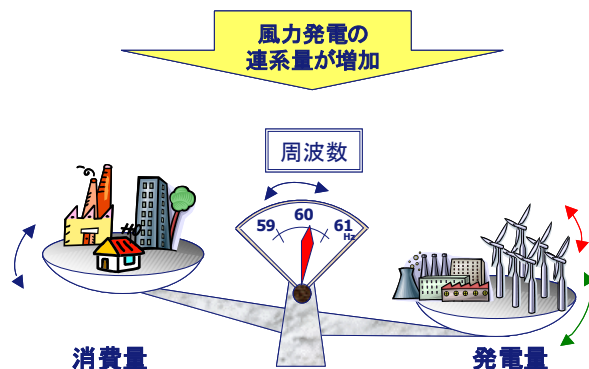


3. 電力の安定供給から見た風力発電の課題

■ 電気は貯蔵することができないことから、消費量の変動にあわせて発電量を常に調整する必要があります。また、風力発電の出力は風の強さによって大きく変動します。



■ 風力発電の連系量が増加した場合、「消費量の変動」に「風力発電の変動」が加わって調整が困難になり、周波数などの電力品質に影響を与える可能性があります。



このため風力発電の連系量は、周波数などの電力品質に影響を及ぼさない範囲とする必要があります。

$$\text{風力発電の出力変動} + \text{消費量の変動} \leq \text{電力系統の調整力}$$

4. 当社サービスエリア内の連系可能量の算出時期

下図の通り、H18年度に運転開始する複数の県における大規模風力発電の実績データが、平成19年度において蓄積されるため、平成20年度に連系可能量が算出できる見込みです。

